

白秋に包まれて



勝山城博物館



CONTENTS

- クロカンマラソン
- 教育委員会表彰式
- HOT話題
- 出会いふれあい

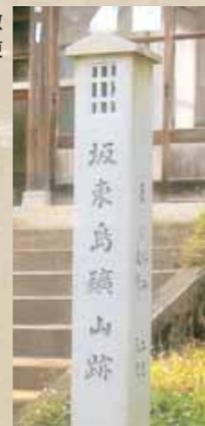
歴史の散歩道 (71)

坂東島を中心に伊知地にまたがる鷲ヶ岳南麓斜面の鉱脈は、銀・鉛山として早くから知られ、貞享二年（一六八五）の越前国絵図には鉛山跡が記されている。安政六年（一八五九）飛騨の銅・鉛山取締り役車屋文七は、飛騨郡代の指示で宝室谷や西谷での試掘願を本保代官所へ出し灰吹法により銀の精錬を試しており、下稼人は村の左兵衛であった。その後七試掘が行われているが、明治に入って鉛・銅の採掘が本格化した。明治十三年、坂東島の笠松平左衛門がまず再興をはかり、採掘を進めたが経営十年後資金面でゆきづまり、伊藤熊樞がゆきづり受けた。その後約三ヶ年は毎月平均三トンの含金・銀・銅・鉛鉱を発掘したが、村落に接するため鉱毒・煙害問題が発生して精錬所を九頭竜川原の中島に移し、約十八メートルの煉瓦積煙突を建てて対処したが資金が続かず、同三十五年一切の権利を時の村長石川石松が受け継ぎ、さらに同三十九年（一九〇六）、三菱合資会社が買って大々的に採掘を行った。しかし、周囲の田畑への煙害問題が起り規模を縮小した。同四十二年再び試掘許可をうけ採掘を始めた。

笠松平左衛門家の屋敷内に建てられた「坂東島鉱山跡」碑



笠松家背後の鉱山跡（選鉱場・坑口など）に設けられた鉱害と危険防止コンクリート壁



勝山市文化財保護委員 増田公輔

いた。坑内の運搬には、中切坑 第一疎水坑間に約一〇〇メートルの水の重さを利用した自動捲下機などを設置していた。坑夫七〇人、手子二五人、運搬夫二〇人、選鉱夫三〇人、雑夫五人の計一五〇人の大がかりな鉱山で、面谷鉱山の支山として稼働されたが、鉱脈が深くなりコストが高くなり昭和三十七年（一九六二）に廃業された。粗鉱は一月平均四〇〇トンを二〇〇トんに精選して上若子精錬所に運び溶解していた。精選された含有量は金〇・〇〇〇五％、銀〇・〇四八％、銅二・五％、鉛八・〇％であった。

坂東島銀山



編集後記

▶今年、周辺の山々の紅葉がいつもより遅かった気がします。枯れた木が多いのも気になります。しかし、着実に秋は深まり、街路樹は朝晩の冷え込みをうけ、色づき始めています。▶庭の木に、かまきりのたまごが産みつけてあるのを発見しました。例年より低い所にあるので、今年は雪が少ないのだろうかと思います。しかし、雪国に住む者には、甘い期待は許されません。皆さんは、そろそろ、厳しい冬に備えて支度をされることでしょうか。ケガのないよう気をつけてください。▶小春日和には、枯れ葉の音を聞き、日だまりでゆっくりと過ぎゆく秋を感じたいものです。



火災発生

☎88-5100 (テープ吹き込み)



休日・祝日在宅当番医

診療時間▶AM9:00~PM5:00

11/12 (日)	クリニカ・デ・ふかや	☎88-0011
11/19 (日)	小林眼科	☎87-7888
11/23 (木・祝)	福井社会保険病院	☎88-0350
11/26 (日)	木下医院	☎87-3333
12/3 (日)	竹下中央内科医院	☎88-1121
12/10 (日)	わかばやしこども内科クリニック	☎88-2415
12/17 (日)	たけとう病院	☎88-6464

○休日に体調が悪くなったときは、ご連絡ください。

☎消防署 (☎88-0400)



交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成18年10月末	前年比
総件数	417件	27
人身事故 (うち高齢者)	81件 (15)	-3 (-6)
死者 (うち高齢者)	1人 (0)	-2 (-2)
傷者	96人	-18
物損事故	336件	30



11月の納税

市県民税▶3期  
 納期限▶11月30日(木)  
 口座振替▶11月27日(月)



人口の動き

	9月末現在	自然動態		社会動態		10月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	13,212人	10	-11	14	-22	13,203人	-9人
女	14,468人	5	-13	21	-44	14,437人	-31人
合計	27,680人	15	-24	35	-66	27,640人	-40人
世帯数	8,130世帯					8,120世帯	-10世帯

毎月第3日曜日は

家庭の日

働く人びとに感謝し 自分でできる仕事や奉仕を受け持とう



古紙製紙率100%再生紙を使用しています

